

武蔵浦和駅周辺地区小・中学校 過大規模校・大規模校の解消について

教育委員会事務局 教育政策室・学校施設課・学事課
スポーツ文化局 スポーツ振興課
都 市 局 都市公園課

審議事項

1. 武蔵浦和駅周辺地区小・中学校の過大規模校及び大規模校の解消に向け、沼影公園用地に、新設校を設置することとしてよろしいか
2. 沼影小学校解体後の跡地利用として、体育館等のスポーツ施設等を新設することを前提に検討を進めてよろしいか
3. 沼影公園を解体(廃止)後、現状と同規模の公園用地の代替地を確保してよろしいか
また、代替地におけるレジャープールの存続・廃止等、今後のあり方についての検討を進めてよろしいか

武蔵浦和駅周辺地区
学校等のエリア図



武蔵浦和駅周辺地区
学校における学級数
の推計
(内谷中学校区の現状)

【令和2年5月1日現在】

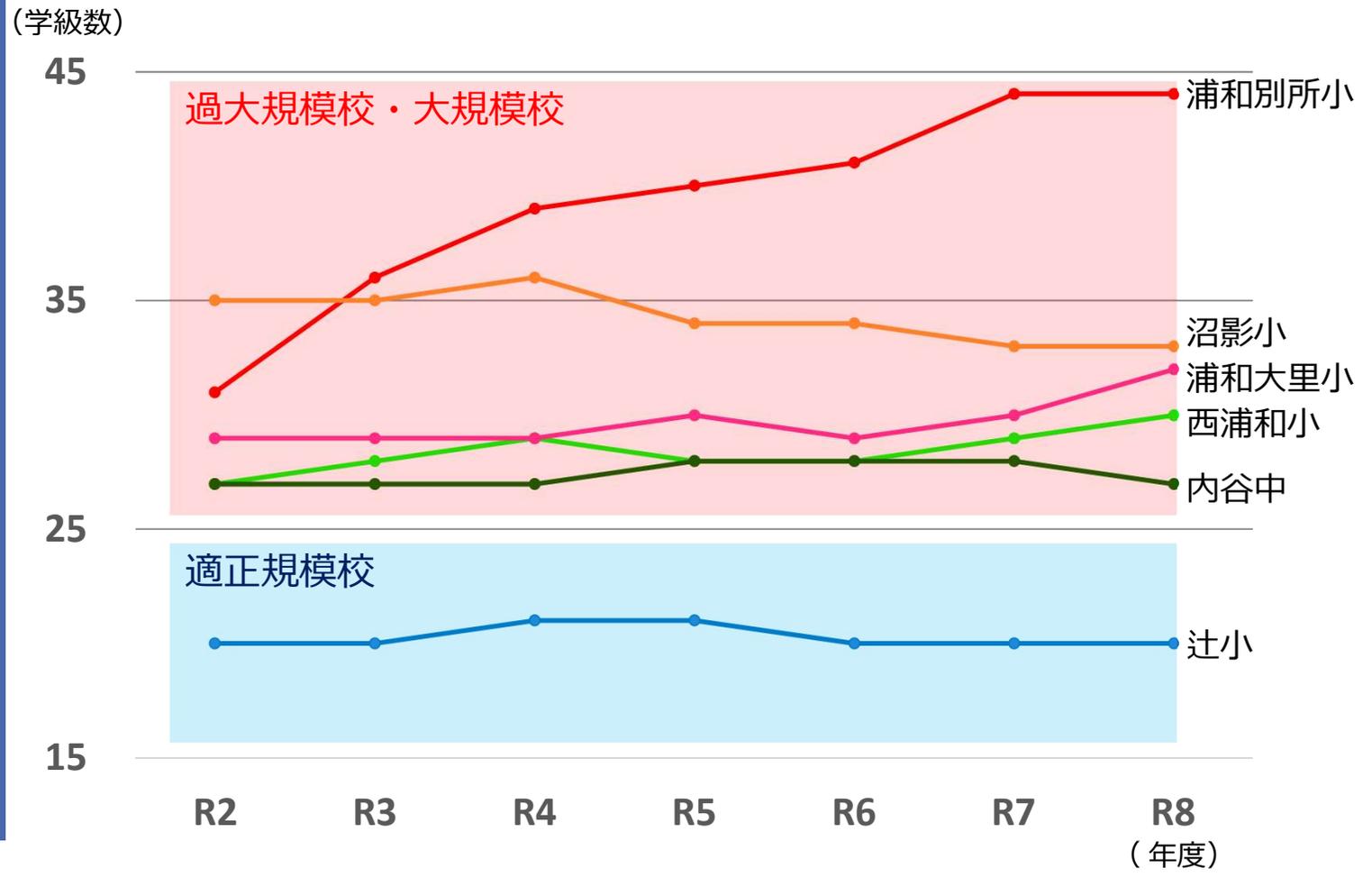
学校名	児童生徒数	学級数 (通常学級のみ)	学校規模
浦和別所小	1,097	31	過大規模校
沼影小	1,099	30	大規模校
浦和大里小	894	26	大規模校
西浦和小	873	25	大規模校
辻小	572	18	適正規模校
内谷中	969	25	大規模校

【参考】隣接する中学校の学校規模について（通常学級数）

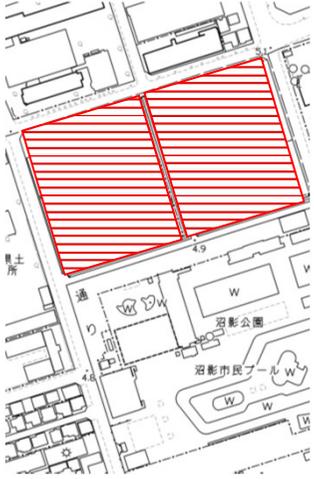
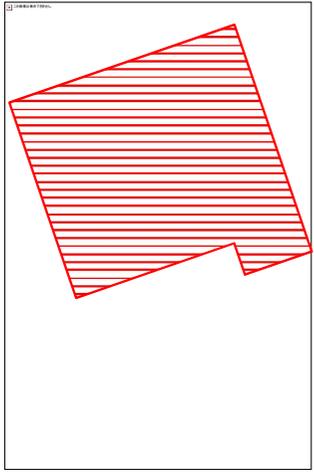
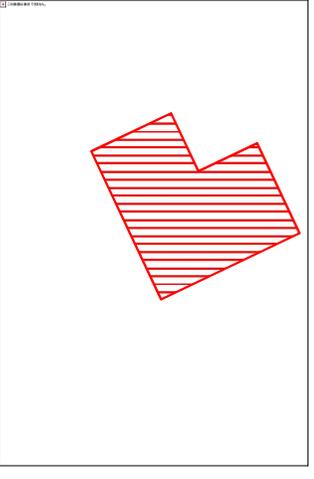
- ・白幡中学校（18）
- ・南浦和中学校（17）
- ・田島中学校（21）

武蔵浦和駅周辺地区
学校における学級数
の推計

【学級数の推計】 令和2年5月1日住民基本台帳に基づく推計値



学校設置に向けた 委託調査の結果

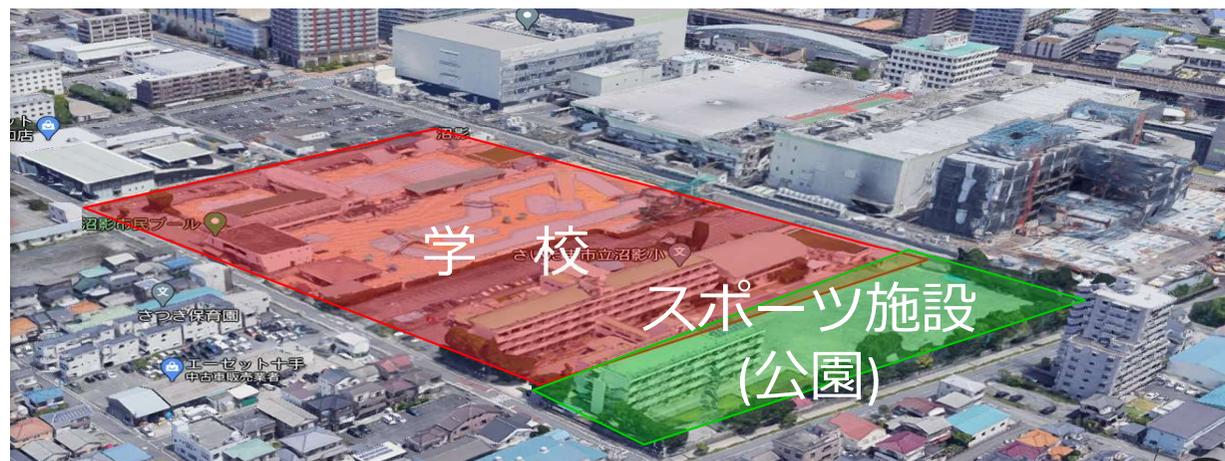
候補地 名称	① 沼影公園北側 (約1.53ha)	② 沼影公園・プール (約2.40ha)	③ 武蔵浦和駅南東側 (約1.57ha)
候補地			
点数 (45点満点)	35	43	27
総評	道路付け、周辺への影響等非常に良い部分もあるが、土地形状等に難あり、民有地（ロッテの駐車場等）であるため、スケジュールや金額の面でも困難。	道路付け、周辺への影響等非常に良い部分もあるが、沼影公園は都市計画公園に指定されているため、土地利用に課題あり。	道路付け、周辺への影響等良い部分もあるが、用地買収が必要。道路の付替えが生じるため、今後施設計画をしていく上で近隣への影響が生じる恐れあり。

学校及び
スポーツ施設の
計画イメージ

【現況】

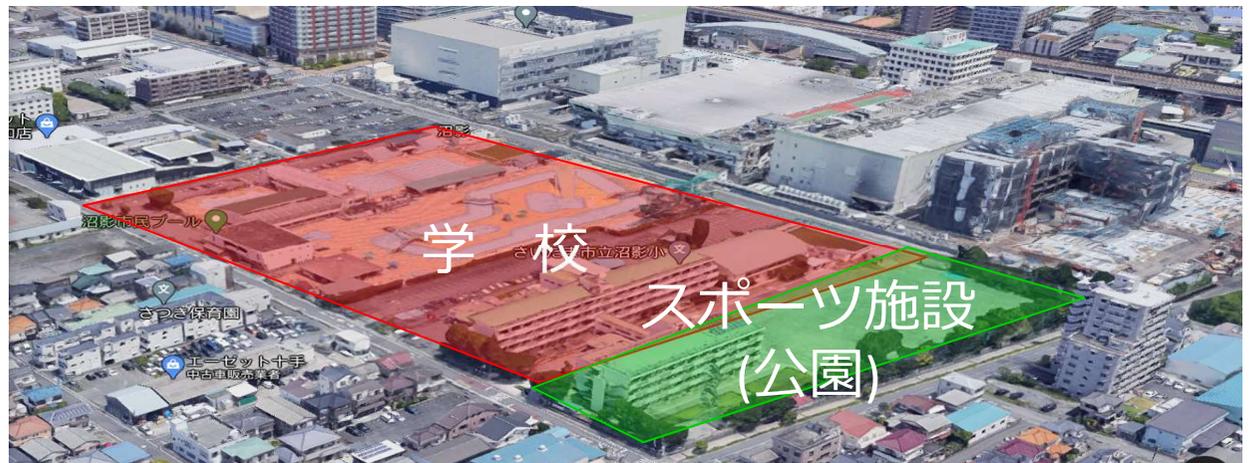


【計画】



学校設置案

【計画】



A案	B案	C案
※1～4年は浦和大里小・内谷中校舎 5～9年（新設）	1～9年（新設）	1～9年（新設） 1～6年（既存）

学校設置案

A案について

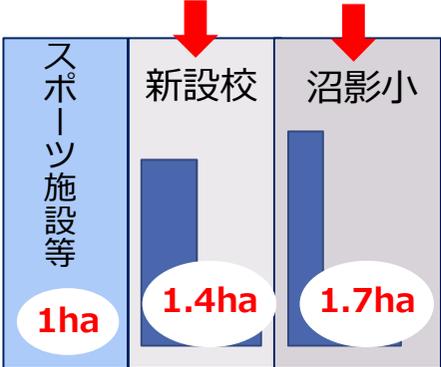
A案	設置による効果
<p data-bbox="757 411 1025 451">5～9年（新設）</p>  <p data-bbox="748 842 1205 906">※1～4年は浦和大里小・内谷中校舎 ※義務教育学校を想定</p> <ul data-bbox="698 954 1064 1249" style="list-style-type: none">• 想定児童生徒数 2,048人• 想定校庭面積 約22,808㎡• 校舎設置可能面積 約8,192㎡	<ul data-bbox="1279 395 2112 1289" style="list-style-type: none">• 浦和別所小、西浦和小ともに教育環境の改善が図られる。• 3つの案の中で最も一人当たりの校地面積が広い。• 小学校高学年における教科担任制の実施がしやすく、学校施設についても合理化が図られる。• 隣接するスポーツ施設等との連携により、校舎の合理性が向上する可能性がある。• 浦和大里小と内谷中に通う児童（1～4年）について、それぞれの校舎に約800人の児童が通う想定となる。現状の浦和大里小と沼影小に比べて、一人当たりの校庭面積が広がるなど、教育環境の改善が図られる。

学校設置案 B案について

B案	設置による効果・課題
<p>1～9年（新設）</p>  <ul style="list-style-type: none"> ・ 想定児童生徒数 2,218人 ・ 想定校庭面積 約23,108m² ・ 校舎設置可能面積 約7,892m² 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 浦和別所小・浦和大里小・西浦和小・内谷中の教育環境の改善が図られる。 ・ 小学校高学年における教科担任制の実施がしやすく、学校施設についても合理化が図られる。 ・ 隣接するスポーツ施設等との連携により、校舎の合理性が向上する可能性がある。 ・ 新設校に通う児童のうち、約半数が7年生から内谷中学校に進学することになる。 ・ 校舎設置可能面積（約7,892m²）に延床面積23,108m²の校舎の設置が必要なことから、校舎の高層化が予想される。

学校設置案

C案について

C案	設置による効果・課題
<p>1～9年（新設） 1～6年（既存）</p>  <p>スポーツ施設等 1ha</p> <p>新設校 1.4ha</p> <p>沼影小 1.7ha</p> <ul style="list-style-type: none">・ 想定児童生徒数 1,318人・ 想定校庭面積 約14,108㎡・ 校舎設置可能面積 設置不可能	<ul style="list-style-type: none">・ 浦和別所小、沼影小、浦和大里小、西浦和小、内谷中の教育環境の改善が図られる。・ 隣接するスポーツ施設等との連携により、校舎の合理性が向上する可能性がある。・ 沼影小の既存校舎を活用するため、事業費が抑えられる。・ 想定校庭面積を確保すると、校舎設置不可能。想定校庭面積の確保が可能な延べ床面積の校舎を設置する場合は、収容可能児童生徒数が少なくなり、周辺の学校の教育環境改善が困難になる。

学校設置案別の検討 (まとめ)

A案	B案	C案
<p>5～9年 (新設)</p>  <p>新設校 3.1ha スポーツ施設等 1ha</p>	<p>1～9年 (新設)</p>  <p>新設校 3.1ha スポーツ施設等 1ha</p>	<p>1～9年 (新設) 1～6年 (既存)</p>  <p>新設校 1.4ha 沼影小 1.7ha スポーツ施設等 1ha</p>
想定児童生徒数		
2,048人	2,218人	1,318人
想定校庭面積 (小学校設置基準及び中学校設置基準を基に算出)		
約22,808㎡	約23,108㎡	約14,108㎡
想定校舎延床面積 (学級数を基に算出)		
30,130㎡	31,210㎡	27,250㎡
財政負担 (学級数を基に算出)		
約123億円	約127億円	約111億円
ランニングコスト (人件費等除く)		
約4,400万円	約4,800万円	約2,900万円

➡ A案による学校設置に向けた基本計画を実施

スポーツ施設 (体育館、武道館) の現状

○市内でスポーツができる屋内施設の稼働率

体育館・武道館	平日	85.4%
	土・日曜日、休日	97.3%
コミュニティセンター・公民館	施設の稼働率	86.7%
	うち、スポーツ利用	91.8%
学校体育施設（開放率）	小学校	100%
	中学校	93%

○体育館等における大規模大会の開催状況

施設名	観客席数	優先予約の割合
		土・日曜日、休日
記念総合体育館	2,954席	92.2%
浦和駒場体育館	1,374席	78.3%
大宮体育館	931席	74.8%
岩槻文化公園体育館	745席	50.4%
大宮武道館	498席	76.5%
平均		74.4%

スポーツ施設 (体育館、武道館) の現状

● 政令指定都市における比較

都市名	人口	区の数	対象施設数※		m ² /万人	
			施設数	順位	面積m ²	順位
新潟市	79.2万人	8	20	3	347	1
仙台市	106.2万人	5	14	8	290	2
浜松市	80.4万人	7	15	6	245	3
さいたま市	130.2万人	10	9	15	108	14
川崎市	150.0万人	7	9	15	83	18
相模原市	71.8万人	3	3	20	72	19
横浜市	374.5万人	18	23	2	70	20
20都市平均			13.4		143	

※対象施設数…競技場面積660m²以上の体育館等の数

- 対象施設数は、政令指定都市20都市中15位
- 人口1万人当たりの競技場床面積は20都市中14位

スポーツ施設 (体育館、武道館) の不足量

● 体育館・武道館における不足する競技場床面積

基準年	スポーツ実施率	体育館利用者数	競技場床面積	一人当たりの床面積
2020年	64.1%	122,300人	59,157m ²	0.483m ²

体育館利用者の推計による場合

スポーツ実施率	2025年	2030年	2040年	2050年
70%	64,239m ²	63,321m ²	62,983m ²	59,167m ²
不足分	5,082m ²	4,164m ²	3,826m ²	10m ²

5,082m²~10m²の不足

政令指定都市の平均値まで引き上げた場合

さいたま市		政令指定都市平均	
1万人当りの面積	競技場床面積	1万人当りの面積	競技場床面積
108m ²	14,064m ²	143m ²	18,620m ²



4,556m²の不足

スポーツ施設 (体育館、武道館) の現状



スポーツ施設

(体育館、武道館)

に係るまとめ

- 北区、大宮区、南区、緑区には体育館等がない。
- 体育館等の平均稼働率は非常に高く、平日は85%、土・日曜日は97%以上。
- 体育館等の競技場床面積が4,000～5,000㎡程度不足している。
- 今後、体育館・武道館を新設する際には、配置バランスを踏まえ平準化を図っていく。(南東は非常に少ない)
- 地域からは、10行政区の中でも最も人口の多く、さらに増加の傾向にある南区に体育館等の運動施設を建設してほしいという強い要望がある。



今後、体育館等のスポーツ施設を新設することを前提に、沼影小学校解体後の跡地利用を検討していくこととしたい。

(スポーツ施設の整備方針と併せて検討していく)

学校及びスポーツ
施設の設置位置・
面積について
(まとめ)

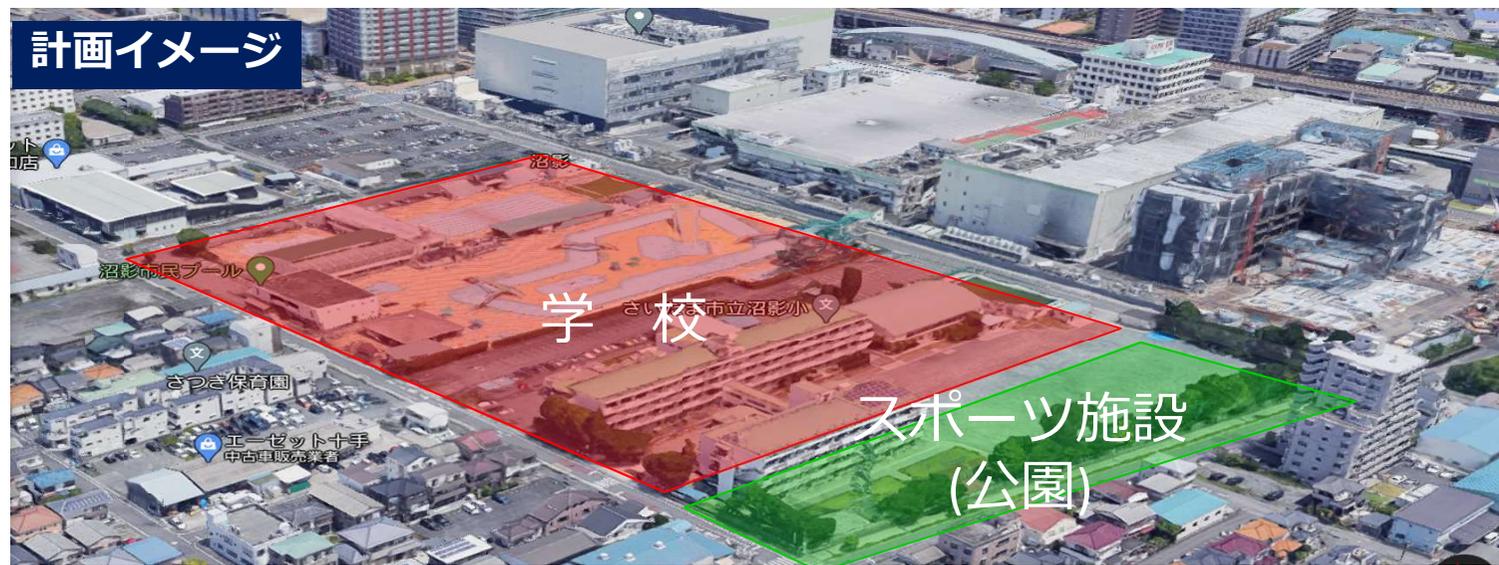
- 学校及び体育館の設置位置・面積について

【現況】

沼影公園	約2.4ha	
沼影小学校	約1.7ha	合計 約4.1ha

【計画】

学校の設置面積	約3.1ha	
スポーツ施設等の設置面積	約1.0ha	合計 約4.1ha



沼影公園の

現状



施設概要	内容	備考
設置日	当初開設 S 46.7.1	都市計画決定 S46.3.30
面積	24,211㎡	うち都市計画決定 10,000㎡
機能	屋外プール(夏季) 屋内プール(通年) アイススケート(冬季) 卓球場 カルチャー教室	

現状	年間平均（過去6年間）	推移・備考
利用人数	約 2 1万 7千人	やや減少傾向
利用料収入	約 5 千万円	やや減少傾向
修繕費	約 3 千 2 百万円	今後も継続的な修繕が必要
維持管理費 (指定管理料※)	約 1 億 5 千 4 百万円 (R1 : 約 1 億 1 千 2 百万円)	やや増加傾向 (指定管理期間 R 1 ~ 5)
その他	R 2 ~ 3 で配管等改修工事中	

※指定管理料（支出－収入） 支出：人件費、維持管理費、修繕費光熱水費、その他事務費
収入：利用料金、行為許可使用料

沼影公園

解体(廃止)に伴う課題



・解体(廃止)に伴う課題と解消に向けて

①都市計画決定の解除 …都市計画法第21条関連

➔ 原則として同規模の都市計画決定が必要

②不足する公園用地の確保(2.4ha) …都市公園法第16条関連

➔ 公園廃止までに南区(もしくは南部地域)を前提とし、
不足する公園用地の代替地を確保する必要がある

※先行して旧教職員住宅跡地(0.2ha)を取得に向け、協議を開始する

③レジャープールの方向性の整理

➔ 市民の意向や、社会情勢・財政的な観点などを勘案した上で
レジャープールの存続・廃止等、今後のあり方について、検討する

④地元関係者(利用者・市民等)への説明・合意形成

スケジュール

事業	R 3 年度	R 4 年度	R 5 年度	R 6 年度	R 7 年度	R 8 年度	R 9 年度	R 10 年度
学校関係	基本計画	基本設計	実施設計			建設工事		<div style="border: 2px solid red; padding: 2px; display: inline-block;"> 新設校 開校 </div> <div style="border: 2px solid green; padding: 2px; display: inline-block;"> 沼影小 解体 </div>
沼影公園 関係	事前調査	解体 実施設計		解体工事	都市計画決定解除			
	レジャープールの 方向性の整理							
	代替地の検討・確保							
		用地取得 (旧職員住宅)	実施設計 (旧職員住宅)	整備工事 (旧職員住宅)				
スポーツ 施設関係			整備手法等の検討			基本計画	基本設計	実施設計

※ R11年度建設工事着工予定

今後の 検討課題

設置に向けた検討

- 新設校の教育課程及び学区等の検討、コスト縮減の検討
- スポーツ施設の整備方針と公共施設マネジメント計画との整合を踏まえたスポーツ施設の規模・機能の検討
- スポーツ施設のコスト縮減や運営手法等の検討
- 沼影小学校校舎解体スケジュールと、スポーツ施設建設スケジュールの調整

設置に伴う検討

- 都市計画決定の解除の調整
- 不足する公園用地の確保の検討
- レジャープールの今後のあり方の検討